



日々、HP更新!



学校教育目標:未来をになう人間性豊かでたくましい児童の育成
学校経営方針:一人ひとりが輝く 子どもが主役の笑顔あふれる学校

ハピネス

山鹿市立三玉小学校

児童数:155人

文責:校長 北山 綾

令和7年12月5日(第14号)

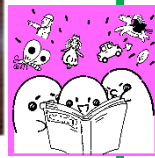
本を語る!! ビブリオバトル開催 ~人間性豊かでたくましい児童の育成~

11月は、三玉小読書月間でした。図書委員会を中心に新たな取り組みをしています。それは、「ビブリオバトル」です。ビブリオバトルとは、自分のおすすめの本を紹介し、最も読みたくなった本を投票で決定する書評活動です。本校では、①友だちが紹介する本について知り、普段読まないジャンルの本に出会う機会とする、②自分が好きな本を紹介することで表現する力を育てるという2つの目的で行っています。言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけてほしいと思います。

山本たいようさんの おすすめは、
「福沢諭吉」



東山あさひさんの おすすめは、
「いもいも ほりほり」



一本は、たくさんの知識を与えてくれる
二本は、物事の見方、考え方を広げてくれる
三本は、心を優しくしてくれる

江里口なぎささんの おすすめは
「いっつごうさぎのきっさてん」



姫地さあやさんの おすすめは、
「いいわけ サウルス」



4人の児童が体育館のステージに立ち、本を語ってくれました

10/27(月) ポテトチップスサラダ
「せかいでさいしょのポテトチップス」



本と給食の献立を関連づけて提供もしています!
関連づけクイズも設置!↓

図書委員会による読み聞かせ~



毎週月曜の朝の時間は全校読書です。12月1日(月)の全校読書では、図書委員会が各学年に出かけて読み聞かせをしてくれました。読み聞かせに向けてこれまで昼休みなどを利用して練習を頑張っていました。最初は緊張している様子もうかがえましたが、堂々と発表していました。児童からは、「主人公になりきって読んでいる姿が凄いなと思いました。」「私もぜひ誰かに読み聞かせをしたいです。」などの声が聞かれました。穏やかな朝です。

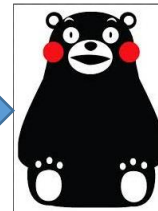
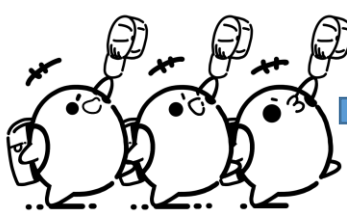


正解(せいかい)は、
こちらに掲示(けいじ)しています!

伝えること・表現すること ~グローバルジュニアドリーム事業を通して~

熊本県教育委員会の主催で「グローバルジュニアドリーム事業」というものが実施されました。目的は、県内の小学6年生及び中学生に、台湾への海外派遣及び現地の青少年たちとの交流等を通して、自分の夢と可能性を発見する機会を提供するとともに、世界の中の日本・郷土熊本に誇りを持ちグローバル社会に視野を向けた子どもの育成を図るものです。本校の城 拓史教諭が山鹿市の代表として引率してきました。そこで経験したり、見たりしたことを子どもたちに伝える機会を持ちました。言葉は通じないことがあっても、色々な方法で伝えることができる。自分の思いや考えを伝えること・表現することの大切さを話してもらいました。子どもたちはキラキラした様子でクイズに答えながら、話を聞いていました。

初めて会う人や学校・学年が違う人に笑顔で挨拶しコミュニケーションをとる姿から学ぶことがあったとのこと。



オーバアー
台湾のマスコット
台湾の高雄市と熊本県友好交流協定



ぼくはだれでしょう?
三玉小のキャラクター、
熊本県のキャラクター
台湾のキャラクターと
比べながら紹介

その話をうけて、私から安心して伝えたり、表現したりするためには、友だちの話をしっかり聞くことや受け止めること、反応することの大切さを話しました。教師も子どもも経験をたくさんしてほしいです。そして、感じたことをみんなで共有していきたいです。

